



イノベーション・柔道・相撲・空手など (その思考と長期的なゴール)

(8月のごあいさつ)
平成29年8月1日(火)

中学、高校時代に柔道と相撲を身体を鍛えるためにやった。特に相撲はプロになりたいと思うほどであったが、全く適性のないことに気づいて途中でやめた。沖縄に来てからも空手やボクシングの話の聴いたり、見たりした。

古来からの日本や琉球の格闘技は、見てもやっても楽しいし興味深い。名力士、名人、名ボクサーの話は、何度読んでも、何度聴いても興味深い。

最近、フランス人の空手家の講演を聴くことがあり、話の中で1億人を超える空手の愛好者とその指導者の世界的な活躍に較べて、空手の中心地である地元における指導者の待遇が充分でないという話があった。その理由を問うと、講師は外国人らしく**マーケティングの問題**だと答えた。確かに、街の道場は、規模も小さくアパートの2階でやっているようなものもある。世界的とも言える空手や柔道の師範の経済的レベルは必ずしも高くはないようだ。茶道や華道は、家元、免許制度に支えられてか、その経済的レベルは高い。マーケティングと言われるとそうとも思う。ドラッカーは事業で最も大切なものは**マーケティングとイノベーション**だと言っている。

ドラッカーの「**イノベーションと企業家精神**」を読んで、「明治維新、日本には見るべき資源は何も無いに等しかった。しかし、**柔道の精神**を利用して、欧米の道具(知識や技術)を使って、インドや中国のように欧米の植民地にならず、欧米の侵略を食い止め日本であり続け、世界の一流国となった」と、**相手の力を利用して技をかける柔道の極意の活用**が語られていた。明治時代や第二次大戦後の日本人や日本の躍進は、それを意識するか否かにかかわらず長期的な**マーケティングゴール**を持った規模の大きい**社会的なイノベーション**とも言える。

発想と方法によって、物事や事業は大きく変わるような気がする。一つ一つの要素動作を極めるのではなく、ひとまとまりの発想、長期的なゴールを持つとき、結果は大きく変わる。相撲でよく言われる**心・技・体**という言葉があるが、名力士は加えてもう一つの条件、**運**が必要だという。それは、心・技・体という現実の**3次元の世界を超えた4次元の世界・運**を利用するということであろうか。イノベーションとは現実の**3次元を超えた挑戦**ではないだろうか。